Windows® ドライバガイド

対象OS
・Windows 95/Windows 98（Windows 95**は**IrDA**のみ**）
・Windows 2000**については記載されていません。詳細は**P.2「Windows 2000**をお使いのかたへ」をご覧ください。**

対象ソフトウェア
・**プリンタドライバ** BJ Raster Printer Driver

Canon

BUBBLE JET PRINTER

BJ M40 シリーズ

プリンタに付属しているソフトウェアの説明書です。必要なページを開いて印刷してお読みください。

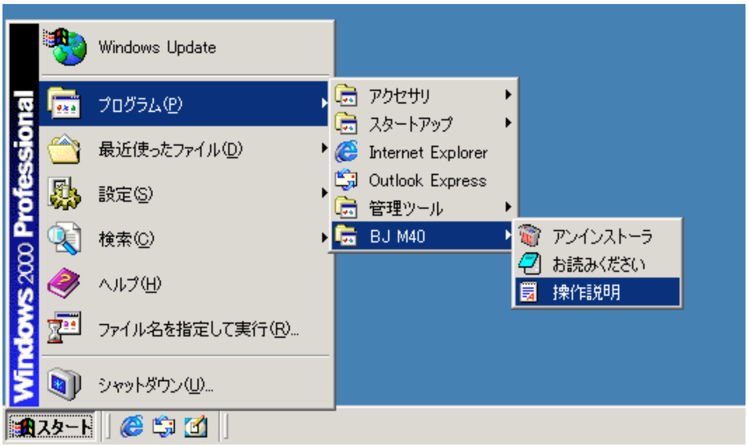
V01

はじめに

■Windows 2000をお使いのかたへ

Windows 2000の操作方法については、別途Word文書形式で取扱説明書を用意していますので、そちらをご覧ください。
インストール完了後、次の手順で説明をお読みください。

1 ［スタート］ボタンをクリックします。
2 ［プログラム］、［BJ M40］、［操作説明］を順にクリックします。



商標について

- Microsoft®、Windows®は、米国マイクロソフト社の登録商標、または商標です。
- Apple、AppleTalk、EtherTalk、Macintosh、QuickDraw、QuickDraw GX、ColorSyncは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- Canon、BJは、キヤノン株式会社の商標です。
- その他の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

説明書について

- 本書ではMicrosoft® Windows® 98をWindows 98、Microsoft® Windows® 95をWindows 95、Microsoft® Windows® CE をWindows CEと略して記載しているところがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様ご相談センターまでご連絡ください。
- このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

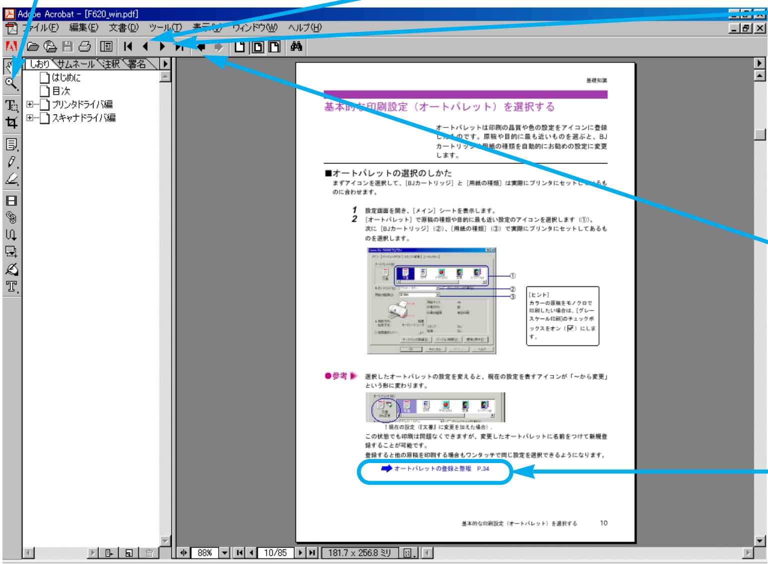
■このマニュアルの読みかた

このマニュアルは、Acrobat Reader4.05Jを使ってお読みになることをお勧めします。
Acrobat Reader3.0Jをお使いになる場合は、下の画面とはアイコンなどが異なります。
Acrobat Readerがインストールされていない場合は、自動的にインストールされます。

このボタンをクリックして画面内をクリックすると拡大します。

前ページへ戻ります。

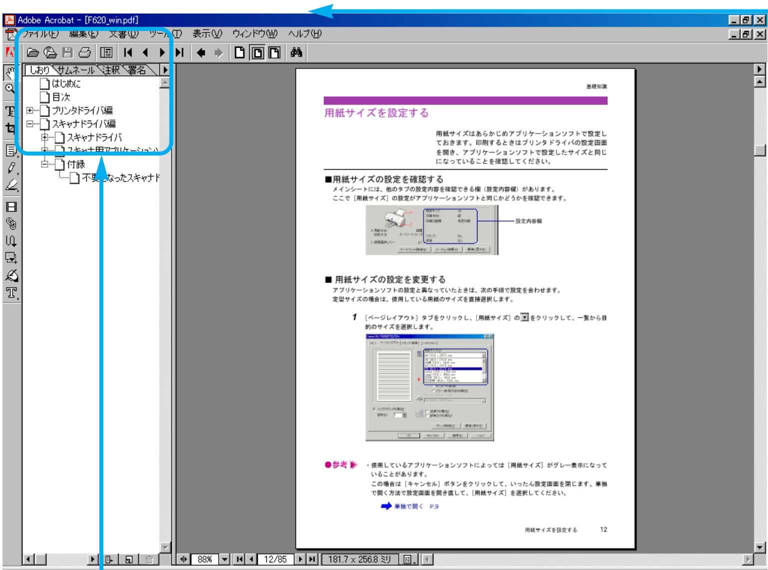
次ページへ進みます。



直前に見ていた画面に戻ります。また、参照ページから戻るときにクリックします。

参照ページの画面が表示されます。
説明文書中にある青く書かれている項目をクリックすると、参照ページにジャンプします。

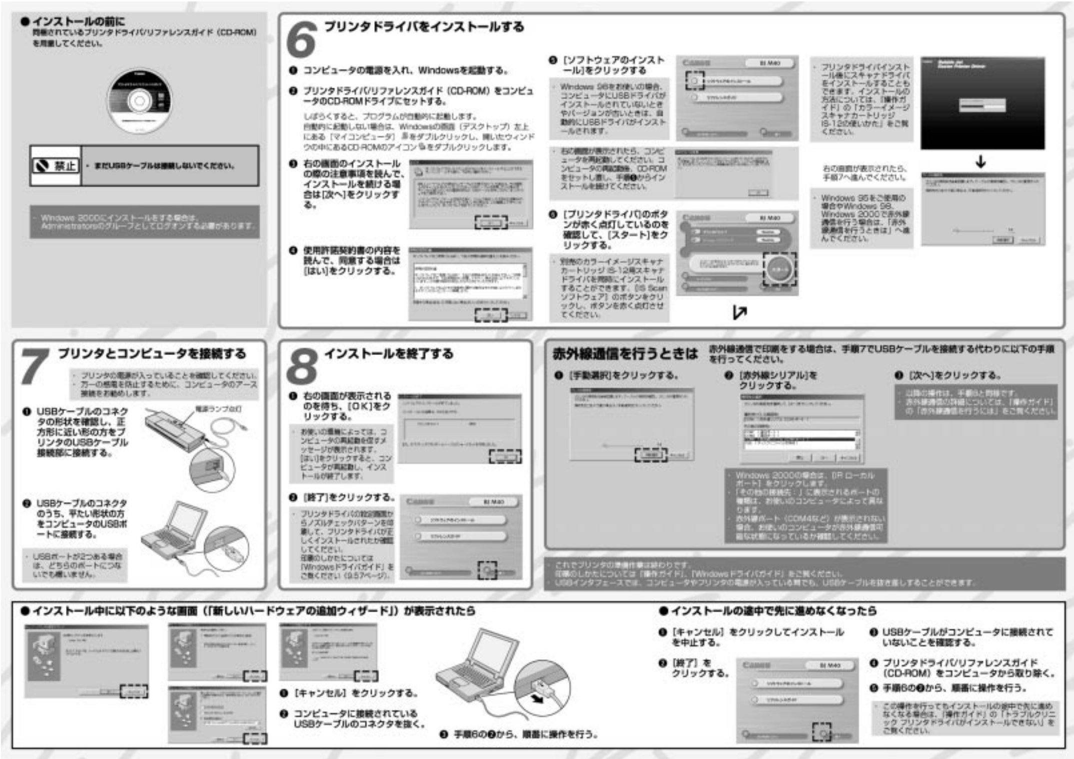
文字を検索したいときにクリックします。



このマニュアルの構成が表示されています。
参照したい項目をクリックすると、そのページにジャンプします。
[+]をクリックすると、その章の中で説明される項目のタイトルが表示されます。
[−]をクリックすると、元の表示に戻ります。

■ソフトウェアのインストールについて

本書を読む前に、ソフトウェアのインストールを正しい手順で行ってください。
インストール方法はかんたんスタートガイド（Windows）の裏面に書かれています。



目次

応用テクニック

メンテナンス機能

メンテナンス機能

付録

プリンタドライバの機能

プリンタドライバはBJ M40シリーズで印刷するときに必要なソフトウェアです。
プリンタドライバが正しくインストールされると、コンピュータが接続したプリンタを認識できるようになります。
印刷時には、原稿のデータをプリンタに理解できる形式に変換し、プリンタに送り出す働きをします。
本書ではプリンタドライバの機能を３つに分類しています。各ページ右上に「基礎知識」、「応用テクニック」、「メンテナンス機能」の分類名を記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

印刷設定を行う……………………………→「基礎知識」 P.9〜P.16

プリンタドライバが正しくインストールされていれば、印刷はいつでも実行できます。しかし、印刷された結果は、原稿の種類、使用する用紙やBJカートリッジにより異なります。それらの条件に合わせて最適な印刷結果を得られるようにする操作が印刷設定です。 適正な印刷設定を行えば、印刷の品質や発色は向上します。印刷を実行する前にプリンタドライバの設定画面を開いて、基本的な印刷設定を行うようにしてください。最低限必要な情報は、「基礎知識」にまとめています。

特殊な機能を実行する………………………→「応用テクニック」 P.17〜P.54

プリンタドライバの設定により、拡大/縮小印刷、割り付け印刷、冊子印刷、ポスター印刷、両面印刷、スタンプ/背景の印刷などの特殊な印刷を実行できます。また、写真などの画像データに特殊効果を加えて印刷することもできます。
印刷結果に満足がいかない場合は、色や品質に関する詳細な設定を行ってください。
また、BJバックグラウンドモニタ、BJバックグラウンダ、BJステータスモニタ、BJプリンタモニタといった各種ツールを使用すると、印刷の進行状況やプリンタの状態を確認できます。
これらの応用的な機能については「応用テクニック」にまとめています。

プリンタのメンテナンスを行う…………→「メンテナンス機能」 P.55〜P.65

プリントヘッドのクリーニングやテストプリント、電源に関する操作や設定を行う場合にも、プリンタドライバの設定画面を開いてください。アイコンをクリックすると、それぞれの機能をプリンタに実行させることができます。
これらの機能については「メンテナンス機能」にまとめています。

設定画面を開く

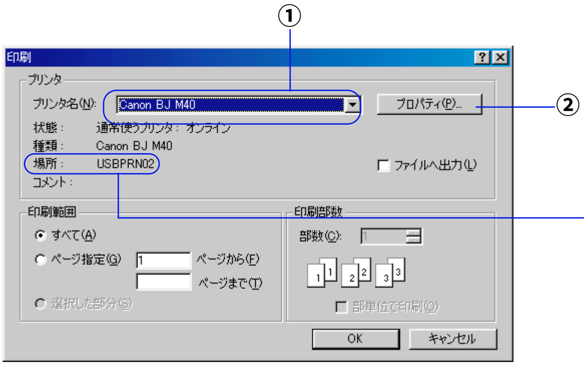
**印刷設定をするときや、クリーニングなどのメンテナンス操作を行うときに、プリンタドライバの設定画面(プリンタのプロパティ)を開きます。
開く方法は２通りあります。**

■アプリケーションソフトから開く

通常は印刷の前にこの方法で設定画面を開き、印刷設定を行います。
操作のしかたはアプリケーションソフトによって異なりますが、ここでは一般的な手順を説明します。

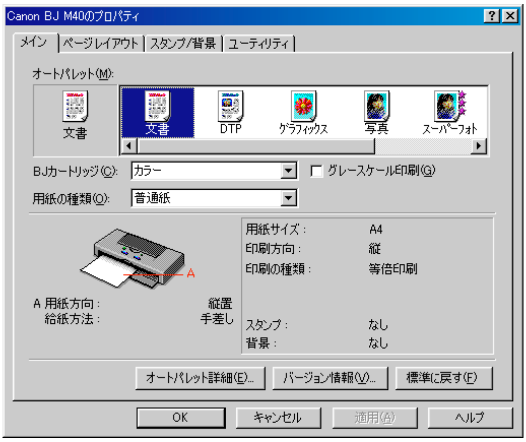
1 アプリケーションソフトで印刷を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［印刷］を選択して、［印刷］ダイアログボックスを表示します。

2 プリンタの［名前］が［Canon BJ M40］になっていることを確認します。別のプリンタが表示されている場合は▼をクリックし、一覧から選択します（①）。続いて、［プロパティ］ボタンをクリックします（②）。



Windows 98をお使いで、BJプリンタを複数台使用している場合は、［場所］でポート名も確認してください。USBインタフェースに接続している場合は、［USBPRNxx］、赤外線通信している場合は、［COM4］等と表示されます。

設定画面が開きます。



＊ここで使用している画面はWindows 98の画面です。Windows 95で使用する場合は、画面が一部異なるところがあります。

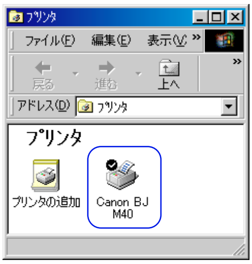
●参考 アプリケーションソフトによっては別のメニュー名であったり、もっと手順が多くなることがあります。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

■単独で開く

アプリケーションソフトを開いていないときに、クリーニングなどのメンテナンスを実行したいときや、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定をしたいときは、この方法で設定画面を開きます。

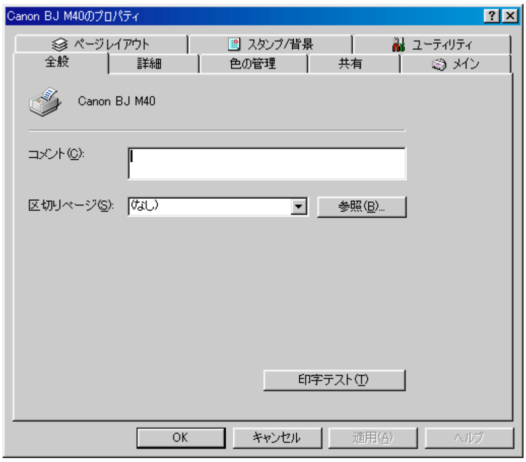
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［プリンタ］を順に選択します。

2 ［Canon BJ M40］のアイコンを選択します。



3 ［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

次のような設定画面が開きます。



●参考

・プリンタドライバの印刷設定に関するタブは［メイン］、［ページレイアウト］、［スタンプ/背景］、［ユーティリティ］の4種類です。
単独で開いたときは、このほかにWindowsが追加する［詳細］等のタブがあります。それらのタブについてはWindowsの取扱説明書を参照してください。

基本的な印刷設定（オートパレット）を選択する

オートパレットは印刷の品質や色の設定をアイコンに登録したものです。原稿や目的に最も近いものを選ぶと、BJカートリッジや用紙の種類を自動的にお勧めの設定に変更します。

■オートパレットの選択のしかた

まずアイコンを選択して、[BJカートリッジ］と［用紙の種類］は実際にプリンタにセットしているものに合わせます。

1 設定画面を開き、[メイン］シートを表示します。

2 [オートパレット］で原稿の種類や目的に最も近い設定のアイコンを選択します（①)。
次に［BJカートリッジ］(②)、[用紙の種類］（③）で実際にプリンタにセットしてあるものを選択します。



[ヒント]
カラーの原稿をモノクロで印刷したい場合は、[グレースケール印刷]のチェックボックスをオン（☑）にします。

●参考 選択したオートパレットの設定を変えると、現在の設定を表すアイコンが「～から変更」という形に変わります。



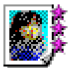
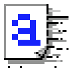
↑現在の設定（『文書』に変更を加えた場合）

この状態でも印刷は問題なくできますが、変更したオートパレットに名前をつけて新規登録することが可能です。
登録すると他の原稿を印刷する場合もワンタッチで同じ設定を選択できるようになります。

➡ オートパレットの登録と整理　P.37

■あらかじめ用意されているオートパレット

あらかじめシステムが用意しているオートパレットの用途は次の表を参照してください。
アイコンを選択すると、[BJカートリッジ]、[用紙の種類］の設定が変わります。

アイコン	用　　途	[BJカートリッジ]	[用紙の種類]
 文書	普通紙に印刷するときの標準の設定です。文章中心の原稿に適しています。	カラー	普通紙
 DTP	さまざまな要素（写真、絵、表など）が混在している文書を印刷するときにお勧めの設定です。 写真やグラフィックスを自動認識して最適な設定に切り替えながら印刷します。	カラー	普通紙
 グラフィックス	グラフや色の境界がはっきりしたコンピュータグラフィックスなどを印刷するときにお勧めの設定です。	カラー	高品位専用紙
 写真	写真を印刷するときの設定です。グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。	カラー	高品位専用紙
 スーパーフォト	写真を最高品質で印刷するときの設定です。グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。	フォト	高品位専用紙
 ドラフト	品質よりも印刷スピードの高速性を重視する設定です。試し刷り等に適しています。	カラー	普通紙
 デジカメ	デジタルカメラで撮影した画像データを印刷するときにお勧めの設定です。 ［フォトデータ補正］がオンになっているため、色かぶりや露出の不具合が発生している画像の色合いを補正して印刷できます。 ➡ フォトデータの色調を補正する　P.30	フォト	高品位専用紙

●参考 ▶▶

- オートパレットに登録されている設定項目は、[BJカートリッジ］や［用紙の種類］だけではありません。すべての項目の設定内容を確認したいときは、[オートパレット］でアイコンを選択した後、[オートパレット詳細...］ボタンをクリックしてください。[クオリティ]、[特殊効果]、[色設定］シートにある設定項目がオートパレットに登録されているもののすべてです。
- オートパレットの各設定項目は変更できます。

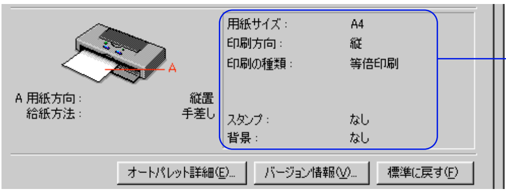
➡ オートパレットの登録と整理　P.37

用紙サイズを設定する

用紙サイズはあらかじめアプリケーションソフトで設定しておきます。印刷するときはプリンタドライバの設定画面を開き、アプリケーションソフトで設定したサイズと同じになっていることを確認してください。

■用紙サイズの設定を確認する

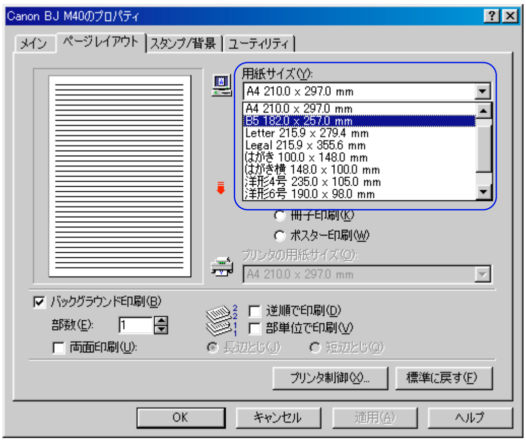
メインシートには、他のタブの設定内容を確認できる欄（設定内容欄）があります。
ここで［用紙サイズ］の設定がアプリケーションソフトと同じかどうかを確認できます。



■ 用紙サイズの設定を変更する

アプリケーションソフトの設定と異なっていたときは、次の手順で設定を合わせます。
定型サイズの場合は、使用している用紙のサイズを直接選択します。

1 ［ページレイアウト］タブをクリックし、［用紙サイズ］の ▼ をクリックして、一覧から目的のサイズを選択します。



●参考

・使用しているアプリケーションソフトによっては［用紙サイズ］がグレー表示になっていることがあります。
この場合は［キャンセル］ボタンをクリックして、いったん設定画面を閉じます。単独で開く方法で設定画面を開き直して、［用紙サイズ］を選択してください。

単独で開く　P.10

・用紙の方向を変更したい場合は、［印刷方向］の［縦］または［横］をクリックします。

■非定型の用紙を使用するとき

A4、A5等の定型サイズではない用紙を使用する場合は、［ユーザ定義サイズ］を選択します。

1 ［ページレイアウト］タブをクリックし、［用紙サイズ］の▼をクリックして、一覧から［ユーザ定義サイズ］を選択します。



［ユーザ定義サイズ］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［用紙の幅］、［用紙の長さ］の数値を入力して（①）［OK］ボタンをクリックします（②）。



指定したサイズの用紙が設定されます。

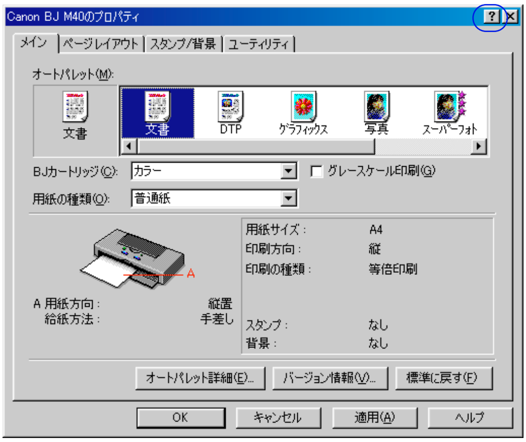
●参考 ・［単位］はmmに設定されています。必要に応じてインチ（inch）に変更できます。

ヘルプの見かた

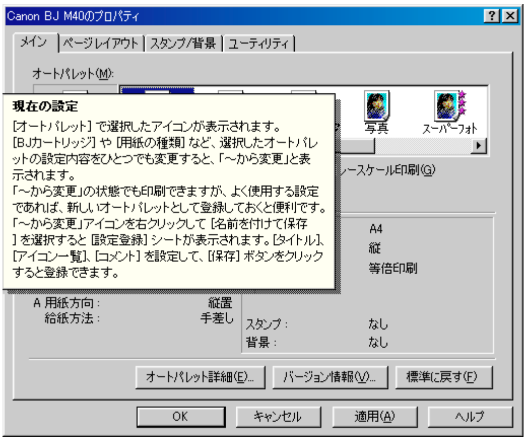
ヘルプを表示すると、設定画面を開いた状態で、操作のしかたや、設定項目の説明を読むことができます。

■設定項目の説明を見る（ポップアップ）

設定画面右上にある ? ボタンをクリックするとポインタの形が ? に変わります。
この状態で説明を見たい項目にポインタを合わせてクリックします。
説明を読み終ったら、画面の好きな場所をクリックします。説明画面が閉じます。

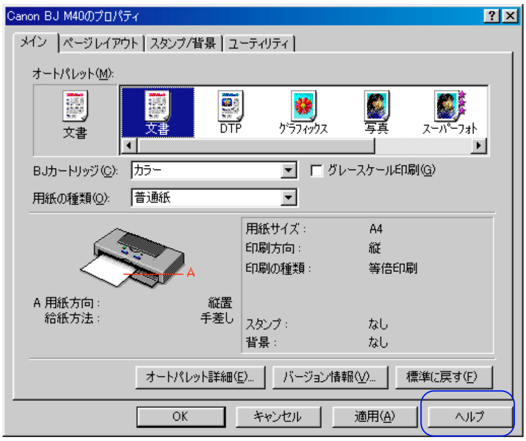


→

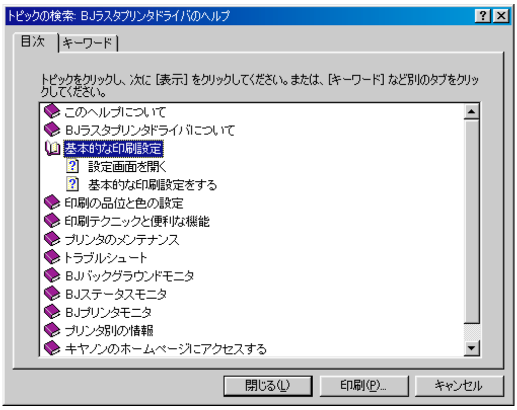


■操作説明を見る（目次）

設定画面右下にある［ヘルプ］ボタンをクリックすると、目次が表示されます。
説明を見たい大項目、小項目を順にダブルクリックします。
説明を読み終ったら、 ☒ をクリックします。説明画面が閉じます。



→



設定画面を閉じる

印刷に関する設定がすべて終わったら、設定画面を閉じて印刷を実行します。

■印刷設定を完了する

1 操作情報欄を見て、用紙のセットのしかたが正しいかどうかを確認します。



2 [OK] ボタンをクリックします。



設定した内容を有効にして、設定画面が閉じます。

●参考

- オートシートフィーダを使用している場合は、[オートパレット詳細...] ボタンをクリックして [クオリティ] シートを開き、[給紙方法] で [オートシートフィーダ] を選択してください。
- 設定内容を無効にしたいときは、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- 設定内容をインストール時の設定（標準設定）に戻したいときは、各シートで [標準に戻す] ボタンをクリックしてください。
- 設定画面を閉じないで、設定した内容を有効にしたい場合は [適用] ボタンをクリックします（Windows 95では [更新] ボタンと表示されることがあります)。

拡大/縮小印刷をする

アプリケーションソフトで作成した原稿を拡大、または縮小して印刷します。
拡大縮小率を設定する方法と、プリンタにセットする用紙サイズを変える方法があります。

■拡大縮小率を指定する

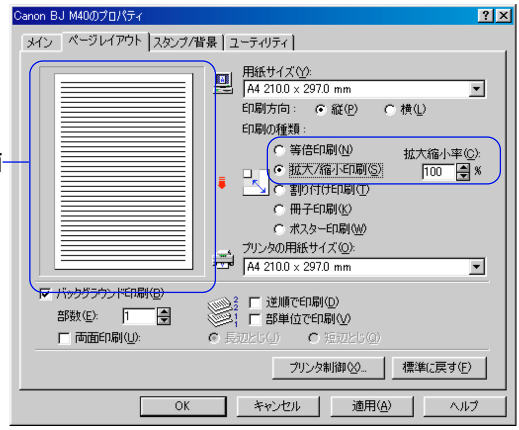
原稿をどの程度拡大、縮小するかがわかっている場合は、拡大縮小率を%で設定します。

1 設定画面を開き、[ページレイアウト] タブをクリックします。

2 [印刷の種類] で [拡大/縮小印刷] をクリックします。

[プリンタの用紙サイズ] と [拡大縮小率] が設定できるようになります。

プレビュー画面



3 [拡大縮小率] を設定します（10〜400%）。

数値欄を選択して数値を入力するか、をクリックして数値を調整します。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

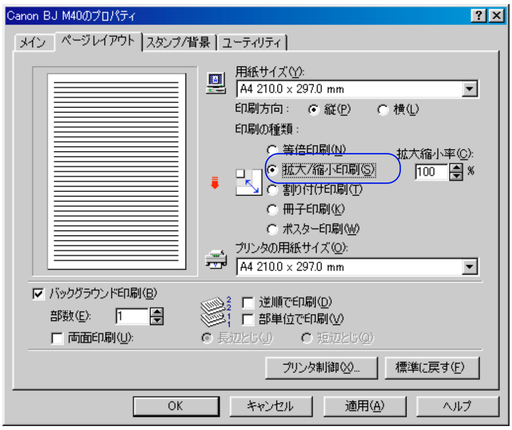
●参考 ・通常の印刷に戻したい場合は、[印刷の種類] で [等倍印刷] を選択してください。

■用紙サイズに合わせて自動的に拡大縮小する

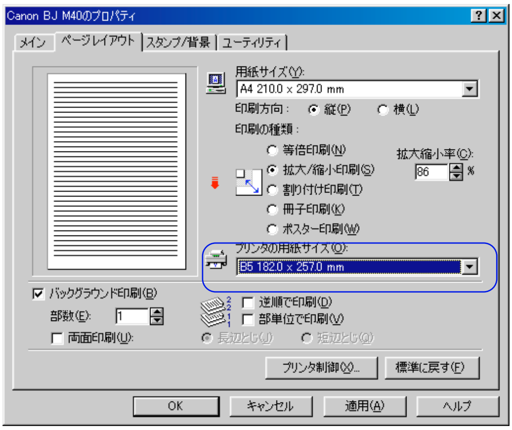
［プリンタの用紙サイズ］を設定して、拡大/縮小印刷を行います。
［用紙サイズ］より大きなサイズを選択すると拡大、小さなサイズを選択すると縮小されて印刷されます。プリンタには［プリンタの用紙サイズ］で指定したのと同じサイズの用紙をセットしてください。

1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

2 ［印刷の種類］で［拡大/縮小印刷］をクリックします。
［プリンタの用紙サイズ］と［拡大縮小率］が設定できるようになります。



3 ［プリンタの用紙サイズ］の をクリックし、目的の用紙サイズを選択します。
［用紙サイズ］と異なるサイズを選択すると、［拡大縮小率］は自動的に計算されます。微調整が必要な場合は数値を変更してください。



4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

・通常の印刷に戻したい場合は、［印刷の種類］で［等倍印刷］を選択してください。

割り付け印刷をする

2ページ分または4ページ分の原稿を、1枚の用紙に納まるようレイアウトして印刷します。
見開きで全体のイメージを見たいときや、袋とじに仕上げるときに便利です。

■割り付け印刷の設定を行う

［印刷の種類］で［割り付け印刷］を選択します。割り付けページ数等の細かい設定を行う場合は、［詳細設定］ボタンをクリックします。

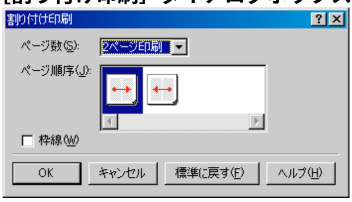
1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

2 ［印刷の種類］で［割り付け印刷］をクリックします。
［詳細設定...］ボタンが表示され、プレビュー画面の表示が変わります。



3 必要に応じて［詳細設定...］ボタンをクリックし、［割り付け印刷］ダイアログボックスで詳細な設定を行います。
設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。

［割り付け印刷］ダイアログボックス



[ページ数]…………… ▼ をクリックして、1枚の用紙に2ページ分の原稿を割り付けるか、4ページ分の原稿を割り付けるか選択します。

[ページ順序]…………用紙に対してどのような順序で原稿を割り付けるかを選択します。
アイコン上の矢印の丸側を起点として、矢印の方向にページを配置します。

[枠線]……………………チェックボックスをオン（☑）にすると、各ページのまわりに枠線を印刷します。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は、［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

・［バックグラウンド印刷］がオフ（☐）になっているときは、割り付け印刷はできません。
・通常の印刷に戻したい場合は、［印刷の種類］で［等倍印刷］を選択してください。

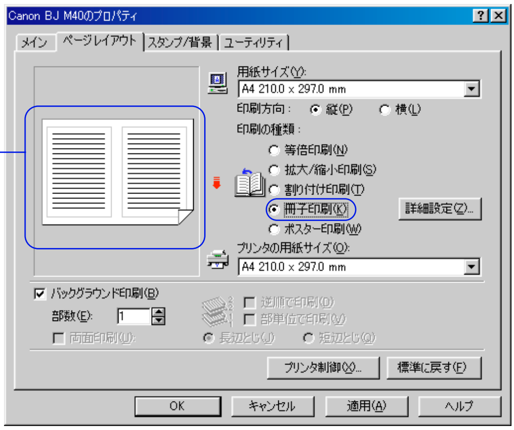
冊子印刷をする

中央で折ってとじたときにページの順番が揃うように、ページを配分しながら両面印刷します。
小冊子を作るときに便利です。

■冊子印刷の設定を行う

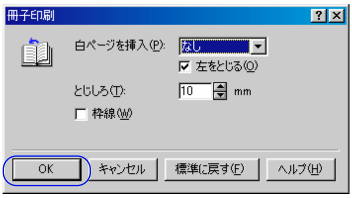
1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

2 ［印刷の種類］で［冊子印刷］をクリックします。
［詳細設定...］ボタンが表示され、プレビュー画面の表示が変わります。



3 必要に応じて［詳細設定...］ボタンをクリックし、［冊子印刷］ダイアログボックスで詳細な設定を行います。
設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。

［冊子印刷］ダイアログボックス



[白ページを挿入]……………とじたときに片側のページが白紙になるようにしたい場合、白紙にするほうのページを選択します。

[左をとじる]…………………チェックボックスをオン（☑）にすると、左側をとじるように原稿を配置します。チェックボックスをオフ（☐）にすると、右側をとじるように原稿を配置します。

[上をとじる]…………………チェックボックスをオン（☑）にすると、上側をとじるように原稿を配置します。チェックボックスをオフ（☐）にすると、下側をとじるように原稿を配置します。

[とじしろ]……………………とじしろの数値を、mm単位で入力します。用紙の中央から指定した幅が1ページ分のとじしろとなります。

[枠線]…………………………チェックボックスをオン（☑）にすると、1ページごとに周囲を枠で囲みます。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は、[OK]ボタンをクリックして設定画面をとじます。

5 片面の印刷が終わると、メッセージが表示されます。
画面の指示にしたがって、用紙を正しくセットします。

6 [OK]ボタンをクリックすると、もう一方の面の印刷が始まります。
両面の印刷が完了したら、とじしろの中央で折ってとじて、小冊子を作成します。

●参考

- [冊子印刷]を実行すると、両面印刷の機能が実行されます。
- [バックグラウンド印刷]がオフ（☐）になっているときは設定できません。
- 次の設定項目はグレー表示となって選択できません。
  [両面印刷]、[長辺とじ]、[短辺とじ]、[逆順で印刷]、[部単位で印刷]
- [白ページを挿入]でページを選択しているときは、スタンプや背景を設定していても、白紙となるページには印刷されません。
- [用紙の種類]に[普通紙]以外の用紙が選択されているときは設定できません。
- [左をとじる]および[上をとじる]のうち、設定できる内容は、[用紙サイズ]や[印刷方向]の設定によって変わります。
- 冊子印刷を行うと、原稿の内容が縮小されるため、印刷結果が粗くなったように見えることがあります。
- 表面や裏面で印刷方向や用紙サイズなどが異なるときは設定できません。

ポスター印刷をする

原稿を拡大して、複数の用紙に分割して印刷します。写真などの画像データを印刷して用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることができます。

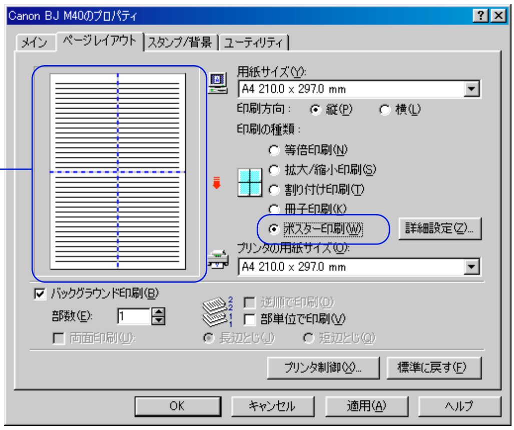
■ポスター印刷の設定を行う

［印刷の種類］で［ポスター印刷］を選択します。原稿の分割数等、細かい設定を行う場合は、［詳細設定］ボタンをクリックします。

1 設定画面を開き、［ページレイアウト］タブをクリックします。

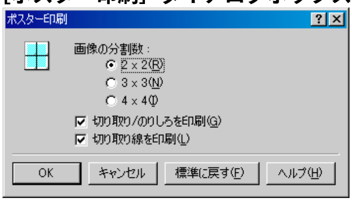
2 ［印刷の種類］で［ポスター印刷］をクリックします。
［詳細設定...］ボタンが表示され、プレビュー画面の表示が変わります。

プレビュー画面



3 必要に応じて［詳細設定...］ボタンをクリックし、［ポスター印刷］ダイアログボックスで詳細な設定を行います。
設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。

［ポスター印刷］ダイアログボックス



[画像の分割数]……原稿をいくつに分割するかを選択します。分割数が多くなるほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターを作成できます。

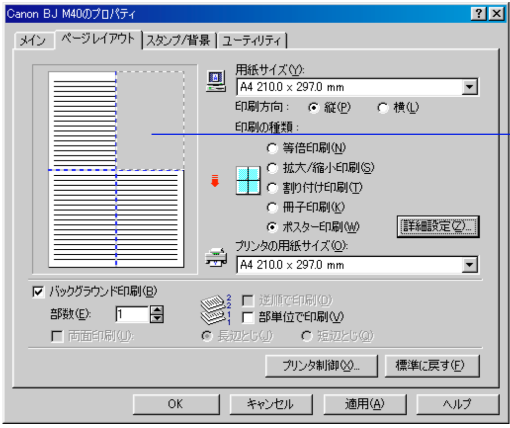
[切り取り／のりしろを印刷]……チェックボックスをオン（☑）にすると、貼り合わせるときに目安となる「切り取り」、「のりしろ」の文字を印刷します。

[切り取り線を印刷]……チェックボックスをオン（☑）にすると、貼り合わせるときに目安となる切り取り線を印刷します。

4 プレビュー画面でレイアウトを確認し、印刷を実行する場合は、[OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

- [バックグラウンド印刷] がオフ（☐）になっているときは、ポスター印刷はできません。
- 通常の印刷に戻したい場合は、[印刷の種類] で [等倍印刷] を選択してください。
- プレビュー画面では各分割範囲をクリックすることにより、印刷する部分と印刷しない部分を選択できます。



各分割範囲をクリックすると表示が消え、そのページは印刷されなくなります。
再度同じ範囲をクリックすると、そのページは印刷されるようになります。

プレビュー画面内にマウスポインタを置いて右クリックすると、一度にすべての範囲を選択したり、すべての範囲を印刷しない設定にすることができます。

[全ページ選択]……すべての範囲を印刷範囲として選択します。

[全ページ削除]……すべての範囲を印刷しない設定にします。

部数と印刷順序を変更する

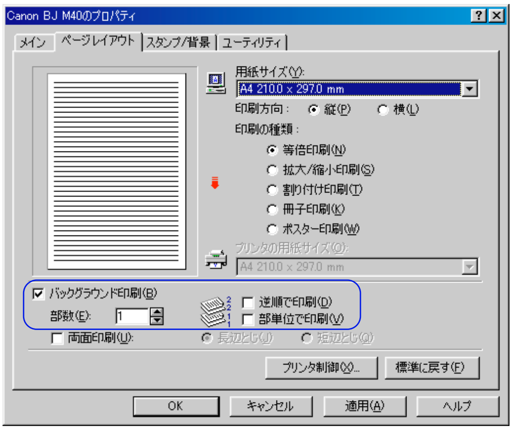
基本の設定では、部数は1部、印刷順序は1ページ目から順番に印刷するようになっています。
同じ印刷データを複数部印刷するときは部数の設定が必要です。また印刷順序を部単位で逆順に設定しておくと、印刷後に並べ換える手間が省けます。

■部数と印刷順序を設定する

印刷の順序は、[部単位で印刷] と [逆順で印刷] の設定のしかたによって変わります。

1 設定画面を開き、[ページレイアウト] タブをクリックします。

2 [部数] と [逆順で印刷]、[部単位で印刷] の設定をします。



[部数]
印刷する部数を設定します。1〜999まで設定できます。

[逆順で印刷]
複数のページを印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、最終のページから印刷します。オフ（☐）にすると、先頭のページから印刷します。

[部単位で印刷]
複数部を続けて印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、1部ずつまとまるように印刷します。オフ（☐）にすると、同一ページごとにまとまるように印刷します。

3 印刷を実行する場合は、[OK] ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

- [バックグラウンド印刷] がオフ（☐）になっているときは設定できません。
- [ポスター印刷] を選択しているときは [逆順で印刷] は設定できません。
- [冊子印刷] を選択しているときは [逆順で印刷]、[部単位で印刷] は設定できません。
- 複数部数あるいは [逆順で印刷] の設定時は、アプリケーション側では設定せず、プリンタドライバ側で設定するようにお勧めします。

用紙の両面に印刷する

基本の設定では、用紙の片面に印刷するようになっています。
両面印刷をする場合は、片面の印刷が終わるごとに、用紙をセットします。

■両面印刷を行う

両面印刷は、[長辺とじ] と [短辺とじ] の設定のしかたによって変わります。

1 設定画面を開き、[ページレイアウト] タブをクリックします。

2 [両面印刷] をオン (☑) にします。



3 [長辺とじ] と [短辺とじ] のいずれかを選択します。

[長辺とじ]

用紙の長いほうの辺でとじるときに選択します。

[短辺とじ]

用紙の短いほうの辺でとじるときに選択します。

4 印刷を行う場合は、[OK] をクリックして、設定画面を閉じます。

5 片面の印刷が終わると、メッセージが表示されます。
画面の指示にしたがって、排出された用紙の印刷されていない面を上にしてセットします。長辺とじと短辺とじでは、用紙を裏返すときの向きが異なります。画面に表示される図をご覧になり、正しくセットしてください。

6 [OK] ボタンをクリックすると、もう一方の面の印刷が始まります。

●参考

- [バックグラウンド印刷] がオフ (□) になっているときは設定できません。
- [メイン] シートの [用紙の種類] に [普通紙] 以外が選択されているときは設定できません。
- [印刷の種類] に [冊子印刷]、[ポスター印刷] が選択されているときは設定できません。
- 表面や裏面で印刷方向や用紙サイズなどが異なるときは設定できません。

スタンプを印刷する

原稿データに重ねて、文字列で構成されたスタンプを印刷します。
ここでは、すでに登録されているスタンプを選択する方法を説明します。

■登録されているスタンプを選択する

あらかじめ「社外秘」、「重要」など、ビジネス文書に使用するスタンプが登録されています。

1 設定画面を開き、[スタンプ/背景] タブをクリックします。

2 [スタンプ] の ▼ をクリックし、一覧の中から選択します。
プレビュー画面にスタンプが表示されます。



3 必要に応じて、次の設定を行うことができます。

[前面に印刷]…………チェックボックスをオン（☑）にすると、スタンプは原稿データの上に表示されます。重なり合った部分ではスタンプが優先的に表示されます。アプリケーションソフトによっては、オフ（☐）になっていると、原稿データと重なりあったスタンプが隠れてしまうことがあります。

[先頭ページのみ]……チェックボックスをオン（☑）にすると、スタンプは最初のページにだけ印刷されます。

4 印刷を実行する場合は、[OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考

- [バックグラウンド印刷] がオフ（☐）になっているときは [スタンプ] を選択できません。
- 通常の印刷に戻したい場合は、[スタンプ] で [なし] を選択してください。
- スタンプのサイズや位置を変更したいときは、[スタンプ設定...] ボタンをクリックしてください。

➡ スタンプの登録と削除　P.40

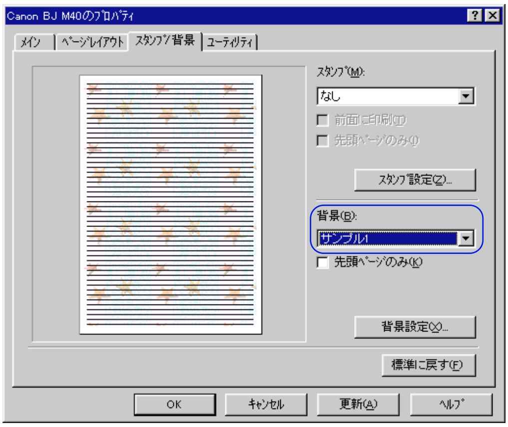
背景を印刷する

原稿データの下地にイラストなどの背景を印刷します。
背景として登録できるのはビットマップファイルです。ここでは、すでに登録されている背景を選択する方法を説明します。

■登録されている背景を選択する

あらかじめ「サンプル１」、「サンプル２」というタイトルで背景が登録されています。

1 設定画面を開き、［スタンプ/背景］タブをクリックします。
2 ［背景］の をクリックし、一覧の中から選択します。
プレビュー画面に背景が表示されます。



3 必要に応じて、次の設定を行います。
［先頭ページのみ］…チェックボックスをオン（☑）にすると、背景は最初のページにだけ印刷されます。
4 印刷を実行する場合は、［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

●参考
・［バックグラウンド印刷］がオフ（☐）になっているときは［背景］を選択できません。
・通常の印刷に戻したい場合は、［背景］で［なし］を選択してください。
・背景の濃度や位置を変更したいときは、［背景設定...］ボタンをクリックしてください。

背景の登録と削除 P.43

画像の補正を行う

**写真やイラストなどの画像データを印刷する場合、必要に応じて補正を行うことができます。
画像のジャギー（ギザギザ）を軽減し、輪郭をなめらかに補正するイメージデータ補正と、画像の色合いを補正するフォトデータ補正があります。**

■画像の輪郭をなめらかにする

画像データをアプリケーションソフトで、拡大すると輪郭にジャギー（ギザギザ）が発生することがあります。イメージデータ補正を行うと、このジャギーを軽減し画像をなめらかに補正して印刷します。
たとえば、インターネットのホームページに使われているような低解像度のイメージデータを印刷するときに効果的です。

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［クオリティ］シートで［イメージデータ補正］をオン（☑）にします。



3 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。

4 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

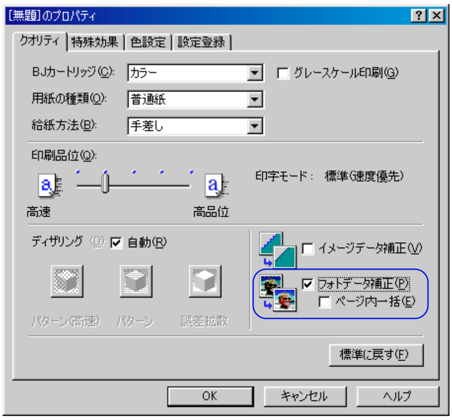
- 使用しているアプリケーションソフトによっては、うまく補正されないことがあります。
- 画像データが高解像度の場合は、補正の効果が明確でないことがあります。
- イメージデータ補正を行うと印刷時間が長くなることがあります。

■フォトデータの色調を補正する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像データの色調を補正して印刷します。
色かぶりや露出の調整が原因で色合いが悪くなっている画像データに効果的です。

1 設定画面を開き、[オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［クオリティ］シートで［フォトデータ補正］をオン（☑）にします。



3 必要に応じて、［ページ内一括］の設定をします。
オフ（☐）にすると、ページ内にある複数の画像をひとつひとつ補正します。
オン（☑）にすると、ページ内にある複数の画像を一括して補正します。切り抜きや回転など、加工した画像データがある場合は、オンにしてください。

4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。

5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考 ・［バックグラウンド印刷］がオフ（☐）になっているときは設定できません。

画像に特殊効果を加える

画像データを加工して、オリジナルの輪郭や色に特殊な効果を与えます。
画像データをイラストのような風合いに加工したり、単一色で表現したりできます。

■イラストのような風合いに加工する

［イラストタッチ］を使うと、写真などの画像データがイラストのような表現で印刷できます。

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
2 ［特殊効果］タブをクリックし、［イラストタッチ］をオン（☑）にします。
画像イメージビューがイラストのように変わります。



3 必要に応じて［明るさ］のスライドバーをドラッグして、画像の明るさを調整します。
4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。
5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

・［単色効果］と組み合わせて使用することができます。
・［バックグラウンド印刷］がオフ（□）になっているときは設定できません。

■単一の色で表現する

［単色効果］を使うと、写真などの画像データを単一の色で印刷できます。

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［特殊効果］タブをクリックし、［単色効果］をオン（☑）にします。
画像イメージビューが単色に変わります。

画像イメージビュー



3 ［セピア］、［ブルー］、［ピンク］、［グリーン］、［指定色］から、好みの色を選んでクリックします。［指定色］を選んだ場合は、必要に応じて［色］スライドバーをドラッグして、好みの色を設定してください。設定した色は、画像イメージビューで確認できます。

4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。

5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

・［イラストタッチ］と組み合わせて使用することができます。
・［バックグラウンド印刷］がオフ（□）になっているときは設定できません。
・［グレースケール印刷］がオン（☑）になっているときは設定できません。
・［BJカートリッジ］が［ブラック］になっているときは設定できません。

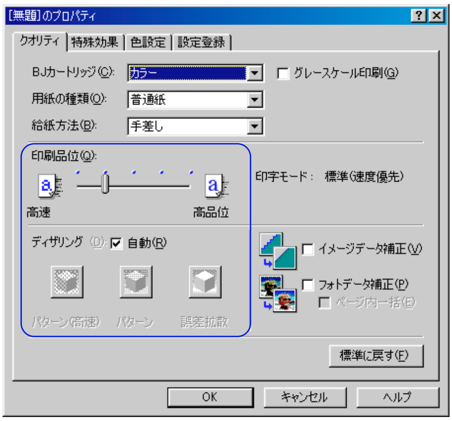
印刷の品質を調整する

印刷結果の品質に満足できなかった場合は、印刷品位やディザリングの方式を変えて微調整することができます。ただし、印刷するデータ自体に問題がある場合は印刷品位を上げても、効果がわからない場合があります。

■印刷品位とディザリングを変更する

印刷の品質は、［印刷品位］と［ディザリング］の設定によって変わります。

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
2 ［クオリティ］シートで［印刷品位］と［ディザリング］を必要に応じて設定します。



［印刷品位］

スライドバーを右（高品位）にするほど、印刷の品質は上がり、印刷に時間がかかります。スライドバーの設定に合わせて解像度と印字モードが変わります。

［ディザリング］

印刷物の色と形状は、吹き付けたインクの点（ドット）の集まりで表現します。この点の配置のしかたを決定しているのがディザリングで、ハーフトーン（中間調）の表現方法が変わります。

［パターン（高速）］

ディザリング処理を簡易的に行って高速に印刷します。

［パターン］

異なる色のドットを一定の法則に従って並べます。
色の境界をくっきり見せたいグラフィックスやグラフに適しています。

[誤差拡散]

異なる色のドットをランダムに配置します。微妙なグラデーションが作り出せるため、写真などの自然画像に適しています。

[自動]

チェックボックスをオン（☑）にすると、印刷データ上にある画像データのタイプを自動的に判別して、適切なディザリング方法に切り替えながら印刷します。

3 [OK] ボタンをクリックして、[メイン] シートに戻ります。

4 印刷を行う場合は、[OK] ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

・最高の品質で印刷する場合は、[誤差拡散] を選択してください。
・BJカートリッジの種類や、選択している用紙の種類、印刷品位などによって選択できない設定があります。その場合は、選択可能な範囲で調整することをお勧めします。

色を調整する

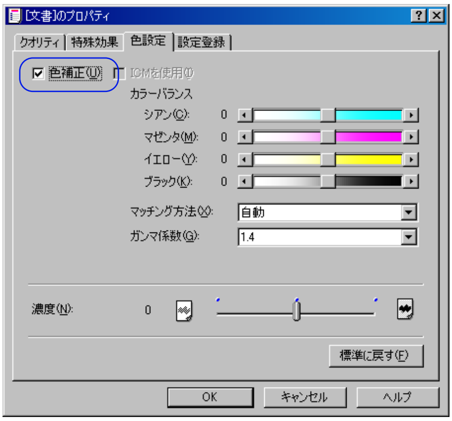
印刷した色合いが思い通りにならなかった場合は、プリンタドライバで色補正をしたり、濃度を調整したりすることができます。画像編集のアプリケーションソフトなどのように印刷するデータ自体の色を補正するものではありません。あくまで微調整を行うものです。

■色を補正する

プリンタドライバが持つ色補正機能をオン（☑）にすると、［カラーバランス］、［マッチング方法］、［ガンマ係数］を選択できるようになります。

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［色設定］タブをクリックし、［色補正］がオン（☑）になっていることを確認します。
この状態で、［カラーバランス］、［マッチング方法］、［ガンマ係数］の設定ができます。



3 必要に応じて各項目の設定を行います。

［カラーバランス］

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色ごとに色の強弱を設定します。
各色のスライドバーを左右にドラッグして調整します。たとえば、青味が強いと感じる場合は、［シアン］をマイナス方向（左）に、弱いと感じる場合はプラス方向（右）にドラッグします。調整後は4色のインクのバランスが変わりますので、全体の色相も変わります。あくまで微調整に留めてください。

［マッチング方法］

中間色を重視する（［写真］）か、原色を鮮やかに表現する（［グラフィックス］）かを選択できます。［自動］を選択すると、印刷データ上にある画像データのタイプを自動判別して適切なマッチング方法に切り替えながら印刷します。

[ガンマ係数]

完全な白と黒の間にある中間色のコントラストを調整します。数値が大きくなるほど全体が暗くなり、明るい部分のコントラストは強く、暗い部分のコントラストは弱く表現されます。

調整しない場合は［1.0］を選択してください。

4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。

5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

●参考

・このほかにWindows 98の色補正機能ICM（Image Color Management）を使った色補正も行うことができます。ただし、使用するにはアプリケーションソフトがICMに対応している必要がある等、さまざまな条件があります。詳細はヘルプを参照してください。

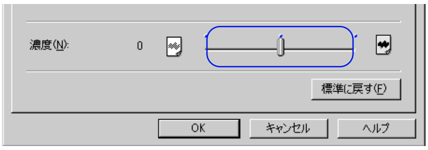
■濃度を調整する

印刷結果全体の濃度を濃くしたり、薄くしたり調整できます。

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［色設定］タブをクリックします。

3 ［濃度］のスライドバーを左右にドラッグして、濃淡を調整します。右にいくほど濃く、左にいくほど薄くなります。



4 ［OK］ボタンをクリックして、［メイン］シートに戻ります。

5 印刷を行う場合は、［OK］ボタンをクリックして、設定画面を閉じます。

好みの設定を登録する

オートパレット、スタンプ、背景は、ユーザーが好みの設定内容に変更したり、新しいものを登録することができます。
ここでは、それぞれの登録や削除のしかたについて説明します。

■オートパレットの登録と整理

既存のオートパレットの設定内容を変更して、新しいオートパレットを登録することができます。
ユーザーが登録したオートパレットは、ファイルとして保存したり、不要になったときには削除できます。
登録の方法と整理のしかたを順に説明します。

●新しいオートパレットの登録

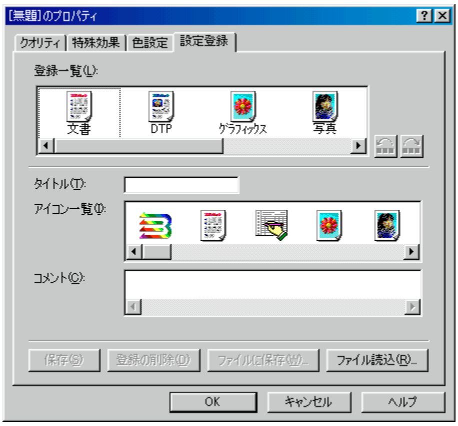
1 設定画面を開き、［オートパレット］で印刷する原稿や目的に最も近い設定のアイコンを選択します。

2 ［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。
オートパレットのプロパティ画面が表示されます。ここでは選択したオートパレットの設定内容のすべてが確認できます。

3 変更したいシートのタブ（［クオリティ］［特殊効果］［色設定］）をクリックし、設定を変更します。
各設定項目の意味は、?ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



4 ［設定登録］タブをクリックします。
［設定登録］シートはオートパレットの登録や整理を行う画面です。クオリティ、特殊効果、色設定の各シートで設定した内容を新しいオートパレットとして保存します。



5 ［タイトル］の入力欄をクリックして新しいオートパレットの名称を入力します。
半角で8文字、全角で4文字以内のタイトルをつけてください。

6 ［アイコン一覧］で新しいオートパレットのアイコンを選択します。

7 必要に応じてオートパレットの説明を、［コメント］に入力します。
ここで入力したコメントは、［メイン］シートの［オートパレット］のアイコンにマウスポインタを置くと表示されます。

8 ［保存］ボタンをクリックします。
［登録一覧］に新しいオートパレットが表示されます。

9 ［OK］ボタンをクリックします。
［メイン］シートに戻ります。

●参考

- ［メイン］シートのオートパレットが［～から変更］の状態になっている場合は、次の方法でも新規登録できます。
  ①［～から変更］アイコンを右クリックし、［名前を付けて保存］を選択。
  ②［設定登録］シートが表示されたら、［タイトル］を入力。
  ③必要に応じて［アイコン一覧］、［コメント］を変更。
  ④［保存］ボタンをクリック。
- 既存のオートパレットが使用しているのと同じタイトルは使用できません。また、「ﾜｰﾌﾟﾛ」、「表計算」、「絵」、「写真ﾌｨﾙﾑ」、「OHP」というタイトルも使用できません。

●アイコンの表示順序を変える

1 設定画面を開き、［オートパレット詳細...］ボタンをクリックします。

2 ［設定登録］タブをクリックします。

3 ［登録一覧］で表示位置を変えたいアイコンを選択します。

4 次のいずれかの方法で移動します。
①アイコン移動ボタンをクリックして、目的の位置に移動したら［OK］ボタンをクリックします。
…アイコンがひとつ前に移動する。
…アイコンがひとつ後に移動する。

②[登録一覧] で直接マウスでアイコンをドラッグし、目的の位置に移動したらマウスのボタンを離します。

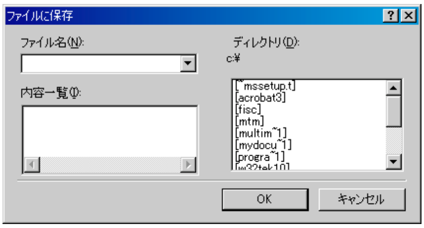
[メイン] シートに戻ります。変更した表示順序は、[メイン] シートの [オートパレット] の表示順序にも反映されます。

●参考

・移動した後で [キャンセル] ボタンをクリックしても、元の位置には戻せません。同様の手順でアイコンを移動して元の位置に戻してください。

●オートパレットをファイルに保存する

1 設定画面を開き、[オートパレット詳細...] ボタンをクリックします。
2 [設定登録] タブをクリックします。
3 [登録一覧] でファイルに保存したいアイコンを選択します。
4 [ファイルに保存] ボタンをクリックします。
[ファイルに保存] ダイアログボックスが開きます。



5 [ディレクトリ] で保存するドライブ、フォルダ名を選択します。
6 [ファイル名] の入力欄をクリックして、ファイルの名前を入力します。
半角で8文字以内、全角で4文字以内の名前をつけてください。
7 [OK] ボタンをクリックします。
オートパレットがファイルに保存されて、[設定登録] シートに戻ります。

●参考

・ひとつのファイルには複数のオートパレットを保存できます。オートパレットごとにファイル名をつけ直す必要はありません。

●ファイルに保存したオートパレットを読込む

1 設定画面を開き、[オートパレット詳細...] ボタンをクリックします。
2 [設定登録] タブをクリックします。
3 [ファイル読込] ボタンをクリックします。
[ファイル読込] ダイアログボックスが表示されます。
4 [ディレクトリ] でオートパレットのファイルが保存されているドライブ、フォルダ名を選択します。
5 [ファイル名] でオートパレットが保存されているファイルを選択します。
6 [内容一覧] で使用したいオートパレットのアイコンを選択します。
7 [OK] ボタンをクリックします。
オートパレットが読込まれて、[設定登録] シートの [登録一覧] に表示されます。

●不要になったオートパレットを削除する

1 設定画面を開き、[オートパレット詳細...] ボタンをクリックします。

2 ［設定登録］タブをクリックします。
3 ［登録一覧］で削除したいアイコンを選択します。
4 ［登録の削除］ボタンをクリックします。
5 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
［登録一覧］から選択したオートパレットが削除されます。
6 ［OK］ボタンをクリックします。
［メイン］シートに戻ります。

●参考

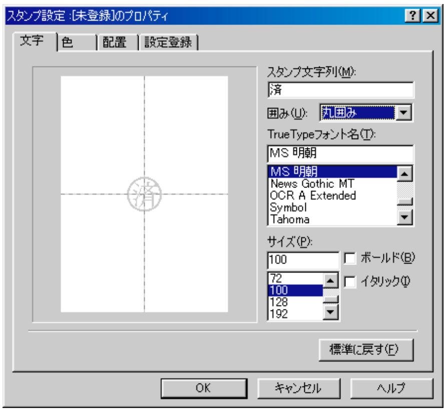
・［文書］など既存のオートパレットは削除できません。
・次の手順で［メイン］シートでも登録したオートパレットを削除できます。
①［オートパレット］で削除したいアイコンを右クリックし、［削除］を選択。
②確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリック。

■スタンプの登録と削除

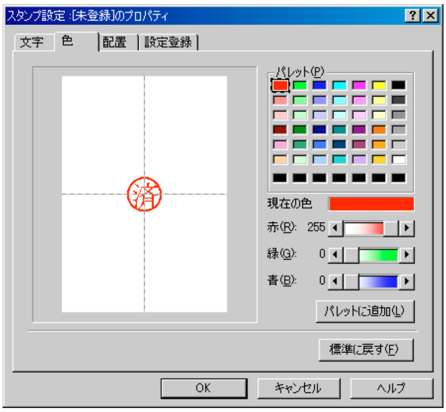
スタンプ設定のプロパティ画面では、既存のスタンプの設定内容を変更したり、新しいスタンプを登録することができます。
不要になったスタンプは削除できます。登録と削除のしかたを順に説明します。

●新しいスタンプの登録

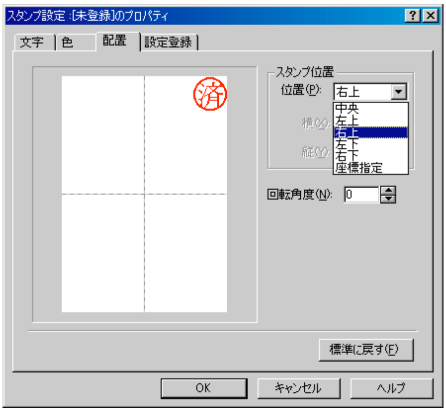
1 設定画面を開き、［スタンプ/背景］タブをクリックします。
2 すでに登録してあるスタンプの設定を一部変更する場合は、［スタンプ］で目的のタイトルを選択します。まったく新規で作成する場合は、［なし］を選択してください。
3 ［スタンプ設定...］ボタンをクリックします。
スタンプ設定のプロパティ画面が表示されます。
4 ［文字］シートでスタンプに使用する文字列に関する設定を行います。
各設定項目の意味は、 ? ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



5 ［色］タブをクリックし、スタンプの配色に関する設定を行います。
各設定項目の意味は、 **?** ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



6 ［配置］タブをクリックし、スタンプに印刷位置に関する設定を行います。
各設定項目の意味は、 **?** ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



7 ［設定登録］タブをクリックします。
文字、色、配置の各シートで設定した内容を新しいスタンプとして登録します。



8 ［タイトル］の入力欄をクリックし、スタンプのタイトルを入力します。
9 ［保存］ボタンをクリックします。
10 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
11 設定登録シートで、［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

●不要になったスタンプを削除する

1 設定画面を開き、［スタンプ/背景］タブをクリックします。
2 ［スタンプ設定...］ボタンをクリックします。
スタンプ設定のプロパティ画面が表示されます。
3 ［設定登録］タブをクリックします。
4 ［タイトル］の一覧から、削除したいスタンプを選択します。
5 ［削除］ボタンをクリックします。
6 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
7 ［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

■背景の登録と削除

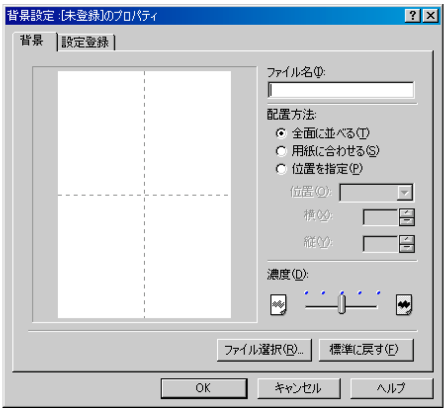
任意のビットマップファイルを選択して、新しい背景として登録することができます。また、既存の背景の設定を一部変更して登録することも可能です。
不要になった背景はいつでも削除できます。登録の方法と削除のしかたを順に説明します。

●新しい背景の登録

1 設定画面を開き、[スタンプ/背景] タブをクリックします。

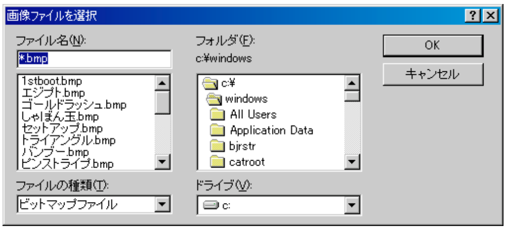
2 すでに登録してある背景の設定を一部変更する場合は、[背景] で目的のタイトルを選択します。まったく新規で作成する場合は、[なし] を選択してください。

3 [背景設定...] ボタンをクリックします。
背景設定のプロパティ画面の [背景] シートが表示されます。



4 [ファイル選択...] ボタンをクリックします。

5 [画像ファイルを選択] ダイアログボックスが表示されます。



6 [ドライブ] でビットマップファイルが保存されているドライブを選択します。

7 [フォルダ] でビットマップファイルが保存されているフォルダ名を選択し開きます。

8 [ファイル名] で背景として使用するビットマップファイルを選択します。

9 [OK] ボタンをクリックします。
背景シートの [ファイル名] に選択したビットマップファイル名が表示されます。

10 必要に応じて [背景] シートにあるその他の設定を行います。
各設定項目の意味は、?ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。

11 ［設定登録］タブをクリックします。



12 ［タイトル］の入力欄をクリックし、背景のタイトルを入力します。
13 ［保存］ボタンをクリックします。
14 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
15 ［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

●参考

- 15Mバイトを超えるビットマップは背景として登録できません。

●不要になった背景を削除する

1 設定画面を開き、［スタンプ/背景］タブをクリックします。
2 ［背景設定...］ボタンをクリックします。
背景設定のプロパティ画面が表示されます。
3 ［設定登録］タブをクリックします。
4 ［タイトル］の一覧から、削除したい背景を選択します。
5 ［削除］ボタンをクリックします。
6 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
7 ［OK］ボタンをクリックします。
［スタンプ/背景］シートに戻ります。

バックグラウンド印刷について

BJプリンタのプリンタドライバは通常バックグラウンド印刷を行う設定になっています。
バックグラウンドでの印刷の進行状況はBJバックグラウンドモニタとBJバックグラウンダで確認できます。

■バックグラウンド印刷について

印刷実行中に別の作業を並行して行えるような印刷処理方法をバックグラウンド印刷といいます。BJプリンタのプリンタドライバでは通常、このバックグラウンド印刷を行う設定になっています。
設定画面を開き、[ページレイアウト] タブをクリックすると、[バックグラウンド印刷] という設定項目があります。ここがオン（☑）の場合は、バックグラウンド印刷を行う設定になっています。
バックグラウンド印刷時は、BJバックグラウンドモニタ、BJバックグラウンダが起動し、進行状況の確認、印刷の中止などを行うことができます。

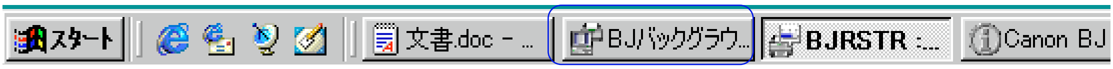
●参考

[ページレイアウト] シートの [バックグラウンド印刷] がオフ（□）になっている場合は、バックグラウンド印刷を利用している次の機能も使用できなくなります。

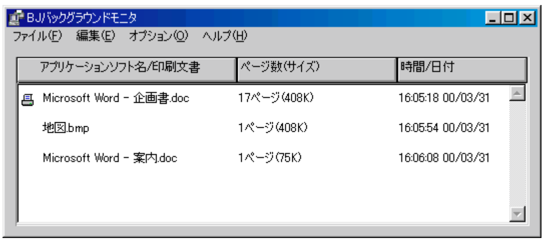
- [ページレイアウト] シートの [割り付け印刷]、[冊子印刷]、[ポスター印刷]、[部数]、[逆順で印刷]、[部単位で印刷]、[両面印刷]、[プリンタ制御...]
- [スタンプ/背景] シートのすべての機能
- [クオリティ] シートの [フォトデータ補正]
- [特殊効果] シートのすべての機能
- [色設定] シートの [ICMを使用]（Windows 98のみ）

■BJバックグラウンドモニタの機能

印刷を実行すると自動的に起動し、タスクバー上に最小化された状態で表示されます。この [BJバックグラウンドモニタ] アイコンをクリックするとウィンドウが開き、印刷中、印刷待ちの文書の進行状況を確認することができます。



↓



表示項目の内容

[アプリケーションソフト名/印刷文書]

スプールされている文書ファイル名が表示されます（使用しているアプリケーションソフトによっては、その名称も表示されます）。印刷中の文書には、アイコンがつきます。

[ページ数（サイズ）]

文書サイズをページ数とバイト数で表示します。

[時間/日付]

印刷を開始した時刻と日付が表示されます。

BJバックグラウンドモニタでは次のような作業を行うことができます。

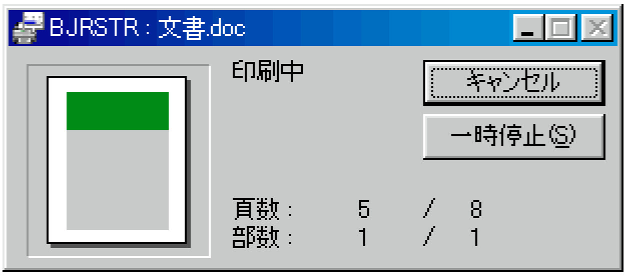
- 印刷する文書の順番を変える
  順番を変えたい文書にマウスポインタを合わせ、移動したい位置までマウスの左ボタンを押したままドラッグします。移動したい位置で左ボタンを離すと移動します。
  ただし、印刷中の文書の順番は変えることができません。
- 印刷を中止する
  印刷を中止したい文書をクリックして、[編集］メニューから［削除］を選択します。確認のメッセージが表示されたら、[OK］ボタンをクリックします。
- BJバックグラウンドモニタを終了する
  [ファイル］メニューから［終了］を選択します。BJバックグラウンドモニタが閉じて終了します。
- バックグラウンド印刷の優先度を設定する
  バックグラウンド印刷の処理を、アプリケーションソフトで行う他の作業の処理に対してどれくらい優先させるかを設定できます。
  [オプション］メニューから［プライオリティ］を選択し、スライドバーをドラッグして調整します。左（低）にするほど、バックグラウンド印刷の処理が優先度が低くなって、他の作業の処理スピードが速くなります。
- 印刷データの一時保管用ディレクトリを変更する
  バックグラウンド印刷を実行するには、一時的に印刷データを保存するための領域がディスクに必要です。ディスクに十分な空き容量がない場合は実行できなくなりますので、空き容量の多いディレクトリに変更してください。
  [オプション］メニューから［ディレクトリ］を選択し、[ドライブ]、[ディレクトリ］を選択し、[OK］ボタンをクリックします。

●参考

- 印刷していない時にBJバックグラウンドモニタを開きたい場合は、[スタート］ボタンをクリックして［プログラム]、[BJラスタプリンタ]、[BJバックグラウンドモニタ］を順に選択します。また、デスクトップに表示されている［BJラスタプリンタ］フォルダを開いて、[BJバックグラウンドモニタ］を選択する方法もあります。
- BJバックグラウンドモニタについては、[ヘルプ］メニューの［ヘルプ］を選択して、説明を参照してください。

■BJバックグラウンダの機能

［バックグラウンド印刷］がオン（☑）の場合は、印刷を開始するとBJバックグラウンダが表示されます。現在プリンタドライバが印刷処理を行っている文書の進行状況を確認できます。



BJバックグラウンダでは次のような作業を行うことができます。

- 印刷を中止する
  文書の印刷を途中でやめたい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバの印刷処理を一時的に停止する
  ［一時停止］ボタンをクリックすると、プリンタは処理を停止します。
  ［再開］ボタンをクリックすると、プリンタは続きを印刷します。

BJステータスモニタの機能

BJステータスモニタはプリンタの状態を確認するツールです。
エラーが発生すると、その内容を示し、対処の方法を表示します。また、インク残量を検知し、残り少なくなるとアイコンと文章で警告します。

■動作環境

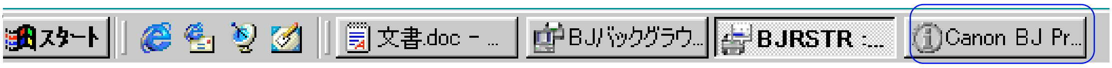
BJステータスモニタを使用するには、Windowsで双方向通信機能をサポートする設定になっている必要があります。

●参考

・Windowsの設定を確認する場合は、［プリンタ］フォルダで［Canon BJ M40］のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。設定画面の［詳細］タブをクリックして［スプールの設定］ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが開きます。ここで［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されていれば、BJステータスモニタを使用できます。

■BJステータスモニタの起動

印刷データがプリンタに送られると自動的に起動し、タスクバー上に最小化された状態で表示されます。この［BJステータスモニタ］アイコンをクリックすると開き、プリンタの状態、印刷の進行状況、搭載カートリッジの種類などの情報を確認することができます。



↓

印刷していない時にBJステータスモニタを開きたい場合は、プリンタドライバの設定画面を開いて、［ユーティリティ］タブをクリックし、［ステータスモニタ起動］ボタンをクリックします。

→



●参考

・印刷時に警告が発生している場合は、自動的に開きます。

■［プリンタステータス］シートの項目

［プリンタ名］

BJステータスモニタが情報を表示しているプリンタの機種名が表示されます。

［ドキュメント名］

印刷中は文書ファイル名が表示されます（使用しているアプリケーションソフトによっては、その名称も表示されます）。

［状態］

プリンタの状態を図とメッセージで表示します。

［開始日時］

印刷を開始した日時を表示します。

［進行状況］

印刷中は処理の進行状況を割合（%）とゲージで表示します。ただし、スプールデータ形式がRAWに設定されていなければ表示されません。また、［スプール設定］で［プリンタに直接データを送る］が設定されている場合も表示されません。

［印刷済枚数］

印刷が終了した枚数を表示します。

［印刷中止］

クリックすると、進行中の印刷を中止できます。ただし、データの転送が終了したあとは中止できません。

［搭載カートリッジ］

プリンタに取り付けられているカートリッジの種類を表示します。

…カラーBJカートリッジまたはフォトBJカートリッジ

…BJカートリッジ

…スキャナカートリッジ

［インク残量警告］

インク残量警告機能がオンのときは、インクが残り少なくなると、そのインクタンクに対応したインク残量警告アイコンを表示します（デフォルト＝オフ）。

詳細は、「インクが残り少なくなったときの表示　P.50」を参照してください。

●参考

- BJステータスモニタの起動のしかたは［オプション］メニューで設定できます。詳細は［ヘルプ］メニューの［トピックの検索］を選択して、説明を参照してください。
- ［進行状況］が表示されない場合は、［プリンタ］フォルダからお使いの機種のプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。プリンタドライバの設定画面が表示されたら、次の操作を行ってください。
  ①［詳細］タブをクリックします。
  ②［スプールの設定］ボタンをクリックします。
  ③［プリンタに直接印刷データを送る］が選択されていたら、［印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う］を選択します。
  ④［スプールデータ形式］が［RAW］になっていないときは、一覧から選択します。
  ⑤［OK］ボタンを順にクリックして設定画面を閉じます。

■エラーが発生したときの表示

用紙がない、インクがなくなった等のエラーが発生したときは、自動的にBJステータスモニタが表示されます。[プリンタステータス] シートでエラー内容を確認し、[ガイド] タブをクリックしてください。対処方法の説明が表示されます。[次へ] ボタンをクリックすると、説明の続きを読むことができます。



→



■ インクが残り少なくなったときの表示

インク残量警告機能がオンのときは、インクが残り少なくなると、[プリンタステータス] シートの [インク残量警告] に警告アイコンを表示して知らせます（デフォルト＝オフ)。

警告アイコンの意味は次の通りです。

…カラー／フォトが残り少ない　　…ブラックが残り少ない

詳しい説明が見たい場合は、[インク情報] タブをクリックしてください。プリンタに取り付けられているBJカートリッジのどのインクがなくなっているかを確認することができます。



→



●参考

・インク残量警告機能がオフの時はインク残量警告がグレー表示になり、[インク情報] タブが表示されません。表示させたい場合は、ユーティリティシートの [特殊設定] で、[インク残量警告を表示する] をオン（☑）にしてください。

インク残量警告を表示させる　P.65

・インク残量警告が表示されたときは、交換用のインクタンクを用意してください。

■印刷を中止する

BJバックグラウンドモニタ、BJバックグラウンダが処理を終了してしまったあと、または、バックグラウンド印刷がオフの場合は、BJステータスモニタで印刷を中止できます。
BJステータスモニタを開き、［プリンタステータス］シートで［印刷中止］ボタンをクリックします。

■複数のBJプリンタを使用している場合

複数のBJプリンタを使用していて、それぞれのBJステータスモニタを起動している場合は、［ポート］メニューで表示したいプリンタの接続ポートを選択します。
また、BJプリンタモニタ（P.52）では、インストールされているBJプリンタの情報を一覧形式で表示します。機種名をダブルクリックすると、そのプリンタのBJステータスモニタを起動することができます。

■BJステータスモニタを終了する

BJステータスモニタを開いている場合は、右上の ボタンをクリックすると終了します。
また、最小化されてタスクバーに常駐している場合は、アイコンを右クリックして［閉じる］を選択します。

BJプリンタモニタの機能

BJプリンタモニタは、コンピュータにインストールしている複数のBJプリンタの情報を一覧形式で表示します。それぞれの状態、接続ポート、搭載カートリッジなどの情報を確認できます。
また、選択したプリンタのBJステータスモニタを起動することも可能です。

■動作環境

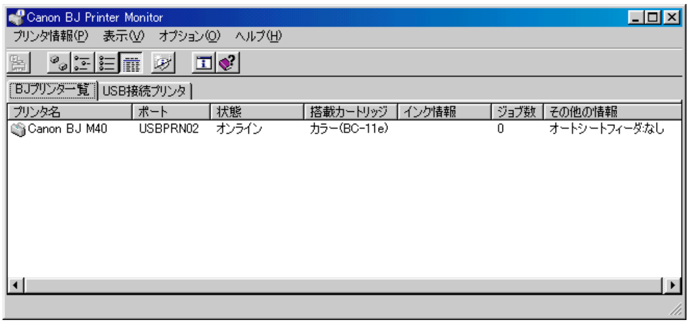
BJステータスモニタ（P.48）の動作環境と同様です。

■BJプリンタモニタの起動

［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］、［BJラスタプリンタ］、［BJプリンタモニタ］を順に選択します。デスクトップに表示されている［BJラスタプリンタ］フォルダを開いて、［BJプリンタモニタ］を選択しても起動します。

■BJプリンタモニタが表示する情報

［BJプリンター覧］シートには、お使いのコンピュータにインストールされているBJプリンタの情報を一覧形式で表示します。



［BJプリンター覧］シート

［プリンタ名］

プリンタの機種名を表示します。名前を変更した場合は、その名前が表示されます。
機種名の前に表示されるアイコンは次のようなプリンタの状態を表します。

…正常な状態

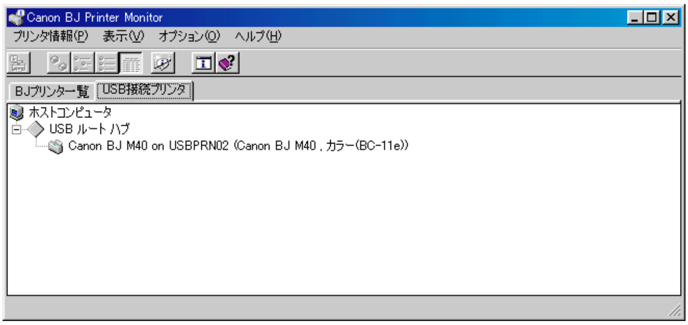
…警告が発生している状態

…エラーが発生している状態

[ポート]
プリンタを接続しているポートが表示されます。
[状態]
プリンタの状態を表示します。
[搭載カートリッジ]
プリンタに取り付けられているカートリッジの種類を表示します。
[インク情報]
インク残量警告機能がオンのときは、インクが残り少ない状態のときやインクがなくなった状態のときに情報を表示します。
[ジョブ数]
印刷処理中の文書の数を表示します。
[その他の情報]
オプションのオートシードフィーダの有無について表示します。

●参考

- 次のプリンタは、[BJプリンター覧] シートに表示されません。
  USB/パラレル変換ケーブルで接続されているプリンタ
  BJC-430J USB対応モデル、BJC-430JD Lite
  他のコンピュータに接続されている共有プリンタ
  印刷先のポートが正しくないプリンタ
- 印刷先のポートの設定が正しくないと、[BJプリンター覧] シートに表示されないことがあります。たとえばプリンタが対応していないのに、印刷ポートにUSBポートやIrDAポートが選択されている場合は、そのプリンタの情報を表示できません。
- Windows 98でプリンタをUSBインタフェースに接続している場合は、[USB接続プリンタ] タブをクリックしてください。USBインタフェースケーブルで接続されているプリンタを確認できます。



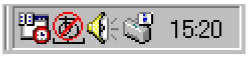
- [表示] メニューの [最新の情報に更新] を選択すると、BJプリンタモニタの表示が新しい情報に変わります。
- BJプリンタモニタのその他のメニューについては、[ヘルプ] メニューの [トピックの検索] を選択して、説明を参照してください。

■BJステータスモニタを起動する

BJプリンタモニタの一覧から、プリンタ名を選択し、[プリンタ情報] メニューの [ステータスモニタ起動] を選択すると、選択したプリンタのBJステータスモニタが起動します。
一覧のプリンタ名をダブルクリックしても同様に起動します。

■BJプリンタモニタを閉じて終了する

[プリンタ情報] メニューの [閉じる] を選択すると、ウィンドウが閉じます。
この状態でもBJプリントモニタは、タスクトレイにアイコンが表示され常駐しています。



↑
BJプリンタモニタアイコン

●参考

・アイコンの形態はプリンタの状態によって変わります（[プリンタ名] P.52）。
・アイコンを右クリックして、[BJプリンタモニタの終了] を選択すると、終了します。

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれたり、特定の色が出なくなったときは、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。クリーニングを行うと、プリントヘッドのノズルの状態が改善します。
2種類のクリーニングがありますので、状況によって使い分けてください。

■通常のクリーニングを行う

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。

2 [クリーニング] のをクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
クリーニングが開始されます。

●参考

- クリーニングを行うタイミングについては、操作ガイドを参照してください。
- プリントヘッドの状態が改善したかどうか確認するには、ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。

➡ ノズルチェックパターン印刷を行う　P.57

■ヘッドリフレッシングを行う

ヘッドリフレッシングはより強力なクリーニングを行います。

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。

2 [クリーニング] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
ヘッドリフレッシングが開始されます。

●参考

- ヘッドリフレッシングを行うタイミングについては、操作ガイドを参照してください。
- プリントヘッドの状態が改善したかどうか確認するには、ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。

ノズルチェックパターン印刷を行う　P.57

テスト印刷をする

ノズルチェックパターンは、テストプリントの一種で、プリントヘッドのノズルから正常にインクが出ているかどうかを確認できます。
印刷結果の状態が悪いとき、またはクリーニングの後などに、印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

■ノズルチェックパターン印刷を行う

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。

2 [テストプリント] の  をクリックします。



用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

3 確認のメッセージが表示されたら、プリンタの電源が入っていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

●参考

- 印刷されたパターンの見かたは、操作ガイドを参照してください。
- クリーニングを繰り返しても、ノズルチェックパターンの状態がよくならない場合は、BJカートリッジのプリントヘッドが消耗している可能性があります。新しいBJカートリッジに交換してください。交換のしかたは操作ガイドを参照してください。

インクタンクを交換する

新しいインクタンク（インクカートリッジ）に交換するときは、ユーティリティシートを開いてカートリッジの種類や交換するインクを設定します。

■BJカートリッジのブラックインクを交換する

1 設定画面を開き、[ユーティリティ］タブをクリックします。
2 ［インクタンク交換］の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK］ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。
4 BJカートリッジのブラックインクを交換します。
インクタンク交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。
5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■カラー/フォトBJカートリッジのカラーインクを交換する

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。

2 [インクタンク交換] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。

4 カラー/フォトBJカートリッジのカラーインクを交換します。
インクタンク交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。

5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■カラー/フォトBJカートリッジのブラックインクを交換する

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。

2 [インクタンク交換] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。

4 カラー/フォトBJカートリッジのブラックインクを交換します。
インクタンク交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。

5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■カラー/フォトBJカートリッジのカラーインクとブラックインクを両方交換する

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。
2 [インクタンク交換] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが移動します。
4 カラー/フォトBJカートリッジのカラーインクとブラックインクを交換します。
インクタンク交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。
5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

BJカートリッジを交換する

BJカートリッジを交換するときは、ユーティリティシートを開いてBJカートリッジの新旧や、交換するBJカートリッジの種類を選択します。

■新しいブラックBJカートリッジに交換する

1 設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックします。

2 ［BJカートリッジ交換］の をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。

4 新しいブラックBJカートリッジに交換します。
BJカートリッジの交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。

5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■カラー/フォトBJカートリッジに交換する

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。
2 [BJカートリッジ交換] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。
4 カラー/フォトBJカートリッジに交換します。
BJカートリッジの交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。
5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■ブラックBJカートリッジに交換する

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。
2 [BJカートリッジ交換] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。
4 ブラックBJカートリッジに交換します。
BJカートリッジの交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。
5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■新しいカラー/フォトBJカートリッジに交換する

1 設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。

2 [BJカートリッジ交換] の  をクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。

4 新しいカラー/フォトBJカートリッジに交換します。
BJカートリッジの交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。

5 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

プリンタの電源をオフにする

プリンタドライバの設定画面でプリンタの電源を切ることができます。
また、データが送られてこないときに自動的に電源を切るまでの時間を変更したり、自動電源オフさせないように設定することができます。

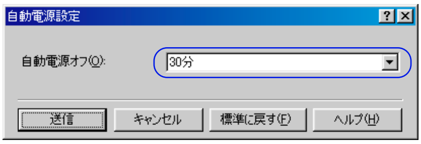
■プリンタの電源を切る

1 設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックします。
2 ［電源］の をクリックします。
3 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
プリンタの電源が切れます。

●参考 ・このあと電源を入れるときは、プリンタ本体の電源ボタンを押してください。

■自動電源オフ機能を設定する

1 設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックします。
2 ［電源］の をクリックします。
3 ［自動電源設定］ダイアログボックスで、 をクリックして時間を選択します。
指定した時間内にデータが送られてこない場合は、自動的にプリンタの電源を切るようになります。



4 プリンタの電源が入っていることを確認して、［送信］ボタンをクリックします。
5 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
以上で自動電源オフの設定は完了します。

●参考 ・デフォルトでは、自動電源オフまでの時間が［30分］に設定されています。
・自動電源オフ機能の設定を解除したい場合は、同じ手順で［自動電源設定］ダイアログボックスを開き、［無効］を選択してください。

特殊な設定を行う

［ユーティリティ］シートにある［特殊設定...］ボタンをクリックすると、インク残量がなくなったときの警告を表示させるように設定できます（デフォルト＝オフ）。

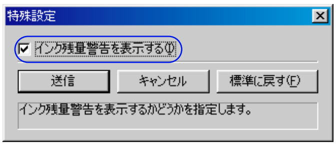
■インク残量警告を表示させる

1 設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックします。

2 ［特殊設定...］ボタンをクリックします。

［特殊設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［インク残量警告を表示する］のチェックボックスをクリックしてオン（☑）にします。



4 ［送信］ボタンをクリックします。

5 確認のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

●参考

- ［インク残量警告を表示する］をオン（☑）にすると、BJステータスモニタにインク残量を警告するアイコンやメッセージが表示されます。

➡ インクが残り少なくなったときの表示　P.50

- ［インク残量警告を表示する］をオン（☑）にしている場合にインクタンク（インクカートリッジ）を交換するときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面から操作を行ってください。インク残量がリセットされます。なお、操作パネルを使ってインク残量警告をオンにした場合は、操作パネルを使ってインク残量をリセットしてください。詳細は操作ガイドを参照してください。

➡ インクタンクを交換する　P.58

プリンタドライバを追加する

2台目以降のプリンタを使用するとき、またはパラレルインタフェースに他のBJプリンタ（キヤノン製）を使用する場合は、［BJプリンタの追加］を起動します。

■新しいプリンタを追加する

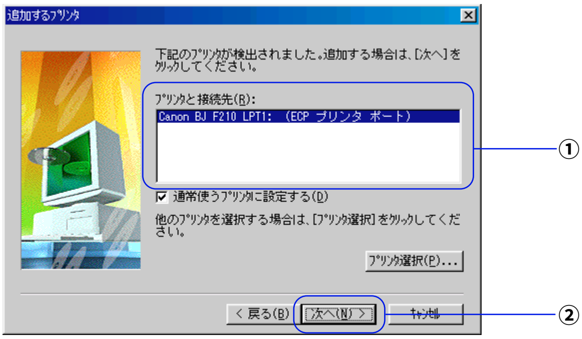
2台目以降のプリンタをどのインタフェースで使用するかによって、手順が違います。

●パラレルインタフェースにプリンタを接続する場合

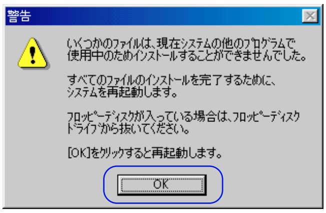
1 新しいプリンタを接続して電源を入れます。

2 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］、［BJラスタプリンタ］、［BJプリンタの追加］を順に選択します。

3 接続したプリンタ名とポート名（LPT1等）が選択されていることを確認して（①）、［次へ］ボタンをクリックします（②）。



4 再起動を促すメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



●USBインタフェースにプリンタを接続する場合

1 パソコンを起動します（インストーラを起動する必要はありません）。

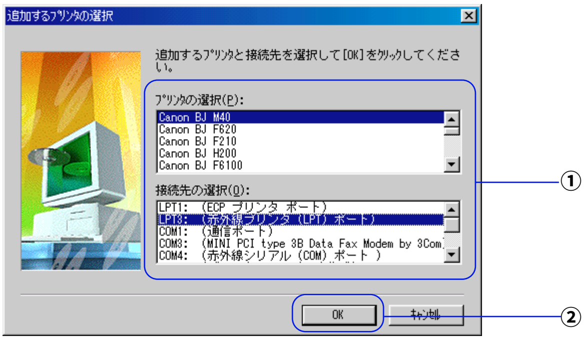
2 パソコンとプリンタをUSBケーブルで接続します。

3 プリンタの電源を入れます。
プラグアンドプレイが実行され、自動的にプリンタドライバがインストールされます。

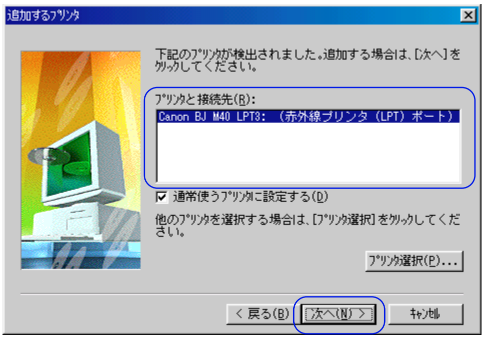
4 プリンタフォルダに、接続したプリンタのアイコンが作成されていることを確認します。

●赤外線通信でプリンタを接続する場合

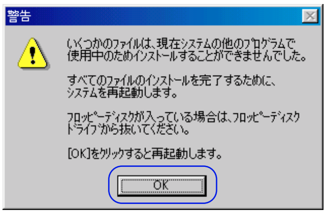
1. パラレルインタフェースやUSBインタフェースに接続されているプリンタを外します。
2. ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］、［BJラスタプリンタ］、［BJプリンタの追加］を順に選択します。
3. 追加するプリンタ名とポート名（“赤外線シリアル（COM）ポート”となっているポート）が正しく選択されていることを確認して（①）、［OK］ボタンをクリックします（②）。



4. 追加するプリンタと接続先を確認したら、［次へ］ボタンをクリックします。



5. 再起動を促すメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



不要になったプリンタドライバを削除する

プリンタドライバは将来的に新しいバージョンが提供される可能性があります。新しいバージョンをインストールする場合は、あらかじめ、以前に使っていたプリンタドライバを削除しておいてください。

■アンインストーラでプリンタドライバを削除する

プリンタドライバに関連するファイルを一度に削除する場合は、アンインストーラを使います。複数のプリンタがインストールされている場合は、すべての機種が削除されます。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］、［BJラスタプリンタ］、［アンインストーラ］を順に選択します。
2. 確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。
3. すべてのファイルの削除が完了したら、［OK］ボタンをクリックします。



以上でプリンタドライバの削除は完了です。
お使いの環境によっては、この後、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されることがあります。この場合は、［OK］ボタンをクリックするとコンピュータが再起動します。

●参考

- デスクトップ上の［BJラスタプリンタ］フォルダの中にある［アンインストーラ］をダブルクリックしても同様に削除できます。
- 特定の機種だけを削除したい場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［プリンタ］を選択し、削除したい機種のアイコンをクリックします。［ファイル］メニューの［削除］を選択すると、確認のメッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックするとその機種のみ削除できます。